

# USER REPORT

## IT点呼で業務を効率化、安全への投資を惜しまず信頼輸送に努める。

三岐通運株式会社

### ■ 三岐通運株式会社

三岐通運株式会社は、愛知、三重、岐阜の三県を中心に、セメントをはじめとする粉粒体、自動車部品と完成車、住宅家電品の輸送を事業の柱としている。責任と誠意をモットーに、信頼輸送に努める同社では、主力三事業の営業所を結ぶIT点呼システムを導入、厳格な飲酒管理と点呼業務の省力化を実現した。



### 点呼の集約化で運行管理者の負担を軽減

中村氏：当社は、平成20年にALC-PRO IIを全営業所に設置しました。それまでは簡易型の測定器を使い、対面点呼時に数値を確認していましたが、検査記録を残せないことが不満でした。そこで、測定データがきちんと残り本人確認用に写真撮影もできるALC-PRO IIを導入しました。ドライバーは以前にも増して飲酒を控えるようになり、安全意識が高まりました。

Tenko-PROは、Gマーク取得後の平成21年6月に導入しました。当社の三本柱である粉粒体事業部、環境資源事業部、A・P事業部(自動車部品と完成車の輸送)の営業拠点をネットワークで結び、ネット動画で対面点呼を実施しています。現在、IT点呼の対象ドライバーは100名です。点呼項目は、健康状態、安全靴を含む服装、運行前点検等です。人数が多いため各ドライバーに認識番号を付け、点呼が滞りなく進むようにしています。

以前は8つの営業所それぞれで対面点呼を行っていましたが、IT化によって業務を一か所に集約することができました。また、人員の省力化を果たすことで運行管理者の確保問題も解消されました。私自身、4年前まで点呼もしていましたが、運行管理者の負担も減ったと感じています。

### 輸送品質を守るために健康の把握も

中村氏：万一、アルコールが検知された場合は、0.000mg/Lになるまで待機となりますが、何時までなら飲んでも大丈夫か当社のドライバーは自分で理解していますので、違反者もありません。また、飲酒を控えることはドライバーの健康管理にもつながっています。

林氏：ドライバーの健康状態の把握は運送会社の大事なポイントです。運送業界ではドライバーの高齢化が進んでいます。当社の平均年齢は50歳くらいです



が、たとえば血圧が高いドライバーがいても免許証を所持する以上、乗務してはいけないとは言えません。乗務に支障がないかどうかの判断は難しいところですが、会社として健康チェックの精度は高めるべきだと考え、脳ドック検診を年齢順に行っています。検査費用は会社が負担しています。まずはドライバーに自身の健康状態を認識してもらうことが大切です。

中村氏：健康問題と共にドライバーの安全教育にも力を入れています。毎月、ドライバーにテーマを与えて行うグループミーティング、車間距離の大切さを認識させる“345(さんよんご)運転”の推進など、さまざまな活動に取り組んでいます。



林氏：製造系の会社と違い、運送会社における品質は「安全」です。当社では一日約500台(協力会社含む)の車両が地域を走っています。従業員自身の安全も含めて事故を起こさないことが最も大事です。ALC-PRO IIの導入からIT点呼の構築までコストはかかりましたが、安全への投資はこれからも惜しみません。

運行管理は運送会社の業務を円滑に進める要である。三岐通運は、運行管理者の確保や業務負担の問題をIT点呼によって解決した。健康管理や安全教育も含め輸送品質を常に高めようとする姿勢が、三岐通運の信頼輸送に結びついている。

ご利用機器

IT点呼システム

パソコン連動記録型測定器

**Tenko-PRO ALC-PRO II**

### 取材ご協力

#### 三岐通運株式会社

取締役 総務部長 **林 光明** 様  
 総務部 経理グループ **中村 雅彦** 様

〒510-8014  
 三重県四日市市富田三丁目22番79号  
 TEL 059-365-6331(代)  
 FAX 059-364-3113

